

皆様、こんにちは。雨も降って少し肌寒い中、お越しいただきありがとうございます。これから、「こまえ みらい 2040」というテーマで、シンポジウムを始めさせていただきます。どうぞよろしく申し上げます。

狛江市は、今年10月に市制施行50周年を迎えました。そして新たな総合基本計画が動き出した年でもあり、新しい市民憲章が公布された年でもあります。いつまでもこのまちで暮らしたいと思える、皆に愛される狛江を目指してまいります。どうぞ皆様も「シビックプライド」を持って、狛江のまちを一緒によりよくしていければと思います。

20年後のまちを考える都市計画マスタープランの改定です。全国的に人口減少傾向にある中、狛江市も想定より少し早いかなという気もしますが、そのような社会においても、ネットワーク化により住みやすいまちづくりを目指す「立地適正化計画」の策定を進めているところです。

今日は、皆様には、専門家の先生方と一緒にいろいろな意見を交わしていただき、まちづくりを考えていただければと思います。

新型コロナウイルス感染拡大により世界、そして日本もだいぶ社会情勢が変わってまいりました。民間から遅れていると言われているデジタル化は国でも急激な推進が行われているところです。今日は小中学生も来ていただいています。狛江の小中学校では、全国に先駆けていち早くタブレット端末を一人一台貸与しております。これは今後のデジタル化の推進、教科書等のデジタル化等も進められていることも見越して行っているところです。

そして、国、東京都で言われているテレワークの推進。電車に乗りますと、テレワークにご協力を、というアナウンスも聞こえてきます。仕事のやり方が大きく変わってくるということでもあります。狛江市のまちづくりは、都心などにお勤めの方が狛江に戻ってきて安らぐ、暮らしをする場所として発展してきたところですが、これからの狛江のまちづくりは、これにプラスして、住んでいるまちのなかで仕事ができる環境を作る、これが大事だと思います。すでに進めておりますテレワークに対応したサテライトオフィスやコワーキングスペース等を、民間の方にご協力いただきながら進めているところです。

狛江の中でランチが食べられたり、仕事に疲れたら少しほっとできるスポット、こういったところも必要になると思いますので、これも進めていくべきだと思います。

人口減少の対策としては、若い方に住んでいただけるような魅力あるまちづくりを進めることが大切です。そうした方々が狛江で住み続けられる環境も必要ですので、支えあいの循環ができる社会を作っていくべきであると考えているところです。

目指すべき20年の間に社会もまちも大きく変化があると思います。

先月の文化の日には、文化功労者の発表がされ、20名の方が顕彰を授与されました。狛江の方もお二人おられ、映画監督の木村大作先生、そして東京大学名誉教授の、メカトロニクス研究をされている原島文雄先生であります。先日原島先生と対談させていただいた折に驚きと希望を抱いたことは、2045年、AIが人間の平均頭脳を超えて人間の仕事の半分はなくなるというお話でした。2045年以前になる可能性もあるといいます。今回20年後を目

指していますけれども、その5年後にはそういう時代になるという想定も必要なのかなと感じています。社会環境では大きく変革していますので、公共施設の在り方も、デジタル化などの流れにより大きく変わることもあるのかなと思います。この庁舎も市民センターも20年後には改築が必要になってくる。そうしたときに、デジタル行政としてこれだけの大きな庁舎が必要なのか、あるいはまちづくりのなかで市民センターの在り方はどうなのかというようなことも議論が必要になってくると思います。

そのようなときに必要なのが人間のころなのです。

原島先生やITの関係の皆さんに聞くと、ITにより心が荒んでくるという側面もあるようです。AIを動かすのは人間なのだけれど、そのうちAIに支配されてしまう。AIをどう使いこなすかが重要で人間のころがしっかりしていないと荒んだ社会になってしまいますので、しっかりと人の心というか、人間の形成、教育が大事だと思います。

そういう時代には人を思いやる気持ちと助け合う気持ちが大事だと思います。

12月4日から10日、ご承知と思いますが人権週間です。狛江市では今年、「人権を尊重しみんなが生きやすい狛江をつくる基本条例」を制定させていただきました。一人一人が大切にされ安心して暮らができる社会が必要ということで、これをきっかけに人権というものについて考えていただければと思います。

本日の語りの中で、わくわくできるようなまちづくりと一緒に考えていただければと思います。感染症対策にご協力いただきつつ、よいまちづくりができるようご意見をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。